

〈以下、中学『第1学年 「特別の教科 道徳」 学習指導案』より、部分抜粋をしています。〉

**資料** 領域横断的カリキュラム（単元構成）

- (1)〔総合〕 ふるさとウォークにおける藤樹書院（上田藤市郎先生）および藤樹記念館（武田基裕先生）での講義と質疑応答
- (2)〔道徳Ⅰ〕 「SDGs」について（※SDGs：持続可能な開発目標）
- (3)〔道徳Ⅱ〕 「中江藤樹」について
- (4)〔道徳Ⅲ〕 「中江藤樹の『孝』とSDGs」について **【本時】**

**第1学年 「特別の教科 道徳」 学習指導案 =No.3 =**

**単元名** 中江藤樹の「孝」とSDGsについて

**本時のねらい** 中江藤樹の「孝」の教えとSDGsの考え方をつなげることで、昔からの教えが今を生きる中での課題と関連していることに気づき、これからの社会を担う者として、その課題を解決するために自らの生活の中でできることを考える。

**本時の展開**

	学習内容	主な発問と予想される生徒の反応	指導上の留意点
導入	① 中江藤樹の「孝」とSDGsを振り返る  ② 中江藤樹の「孝」とSDGsにはどのようなつながりがあるのかを考える。	発問1：中江藤樹の「孝」とはどのような教えか。また、SDGsの17のゴールにはどのようなものがあるか。  発問2：中江藤樹の「孝」とSDGsの17のゴールにはどのような関連があるだろうか。 ・よりよい暮らしをするために必要な考えである。 ・どの人にも当てはまる課題である。	・同心円を用意し、「孝」→SDGs→自分たちにできることの順番で考えさせる。
展開	③ ②で考えたことから、SDGsの17のゴールを達成するために、自分たちにできることを班で考える。	◎発問3：SDGsの17のゴールから3～4項目を選んで自分ができることを考えて、行動宣言をしよう。 ・誰にでもやさしくすることで平和で公正な社会を築く。【(16) 平和と公正をすべての人に】 ・人のために思って行動する。【(10) 人や国の不平等をなくそう】 ・エコバッグを持ち歩く。【(14) 海の豊かさを守る】	・各班にタブレットを用意して、ロイロノート(※)に班での考えをまとめさせる。  ・ロイロノートに同心円を映して、各班の考えをスクリーンに映し出す。
まとめ	⑤ 本時のまとめをする。 ・個人で振り返りシートに記入する。 ・学而事人とのつながりを知る。	・中江藤樹の「孝」とSDGsのつながりから気づいたことや考えたこと、行動宣言の実現に向けての思いを記入しよう。	・学而事人については生徒の意見を引き出したいが、出なかった場合は教師から話をする。

●＜参考＞班でのまとめかたと発表方法

- ・1年1組・・・ワークシートに記入→プロジェクターで画像を映す
- ・1年2組・・・ロイロノートを使用
- ・1年3組・・・ワークシートに記入→書画カメラで映す

(※)ロイロノートとは、学習支援アプリ。課題を共有したり、そこで軽い動画編集ができる。